

<NQN>◇<香港>ロシアのUCルサル急落 ウクライナ緊迫で

【NQN香港=桶本典子】（11時20分、コード@486/HK）香港株式市場に上場するロシアのアルミ生産大手UCルサルが6営業日ぶりに大幅反落した。一時、前週末比0.49香港ドル（5.8%）安の7.91香港ドルまで売られた。ウクライナ情勢の緊迫化で、欧米によるロシアへの経済制裁発動の可能性が高まっており、同社の経営に響くとの警戒感が高まった。

UCルサルは18年の米政府による対ロシア制裁の際、トップを務めていたオレグ・デリパスカ氏が制裁の対象に含まれた経緯がある。地政学リスクの高まりや中国での生産鈍化で国際アルミ先物相場は上昇基調にあり、UCルサル株は前週までに2021年10月以来、4カ月ぶりの高値を付けていた。

香港市場ではウクライナ情勢を巡って売り買いが交錯している。ロシアと中国を結ぶ天然ガスパイプラインを手掛ける中国石油天然気（ペトロチャイナ、@857/HK）は需要拡大の期待が株価を押し上げている。地政学リスクの高まりで、金鉱山の紫金鉱業集団（@2899/HK）も2%高となる場面があった。市場では「商品相場と投資資金の流れによる香港株への影響を注視している」（大唐資本証券のローザ・リー最高投資責任者）との声があった。